

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者 建設部 金城・中川・南5区担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト	
事務事業名	金城ふ頭における円滑な交流拠点開発の推進			連絡先 052-654-7978 連携課 管財課
目的	対象(誰・何を)	金城ふ頭		事業期間 平成29年度～
	意図(どうい う状態にしたいか)	物流機能との共存を図りながら、円滑な交流拠点開発を推進します。		
概要	名古屋市のモノづくり文化交流拠点構想の具体化を図るため、レゴランド・ジャパンを核とした複合開発に協力しており、今後もレゴランド・ジャパンの拡張等が予定されていることから、物流機能との共存を図りながら、円滑な交流拠点開発を推進します。			根拠法令等
令和元年度の実施予定	金城ふ頭まちづくり協議会に特別会員として参加し、交流施設関係者や名古屋市と調整を行うとともに、港湾関係者と調整を行います。			実施義務 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 関連シート

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	大規模イベントにおける交通対策等について、交流施設関係者や名古屋市と連携し、港湾関係者からの意見等に対応しました。また、国際展示場新第1展示館整備等に伴う調整を名古屋市と行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	18,380	13,829	11,926	14,712	
合計	千円	18,380	13,829	11,926	14,712	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
港湾関係者等の意見に対応した割合(%) (単年度管理型)	目標			100	100	交流拠点開発に伴う港湾関係者等からの意見・苦情等に対応した割合 対応した件数/意見・苦情等の件数×100 (意見・苦情等が0件の場合は100%とする)	
	実績		100	100			
	事業進捗状況(元年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	港湾関係者等からの意見に対して、交流施設関係者や名古屋市と調整し対応しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	名古屋市のモノづくり文化交流拠点構想の実施に向けて、物流機能との共存を図りながら、円滑な交流拠点開発を推進する必要があります。					
	○						
有効性 事務事業の目的は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	○	交流拠点開発が推進されることにより、更なるにぎわいの創出が期待されます。					
	○						
効率性 最小のコストとなっているか?	○	最小限の人員で対応しています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	金城ふ頭は港湾物流の拠点でもあることから、物流機能との共存を図って、交流拠点開発を推進し、魅力ある港湾空間を形成する必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
交流拠点開発の推進に際しては、港湾関係者の理解を得て、物流機能を阻害しないようにしていく必要があります。			物流機能と共存した交流拠点開発に向け、引き続き、交流施設関係者や名古屋市と連携し、港湾関係者の理解が得られるように意見等に対応していきます。また、国際展示場新第1展示館整備等に伴う調整を引き続き名古屋市と行っていきます。